

基本目標4 思いやりの心と人づくり

【評価指標と目標値】

評価指標	現状値		目標値
	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和8年度 (2026年度)
65歳未満の民生委員・児童委員の割合	29.5%	25.1%	25.1%
中学生・高校生のボランティア活動実績人数	2,034人	270人	2,100人
ほっとサロン、三世代交流会の参加人数	18,036人	6,407人	18,030人

基本施策(1) 担い手の育成・支援

[現状と課題]

地域福祉活動は、町内会や民生委員・児童委員、各地区社会福祉協議会などがその中心的な役割を担ってきました。また、近年では、ボランティアやNPOなどが多様な公益的活動を展開しており、福祉ニーズの重要な受け皿となっています。

一方で、これらの活動の担い手不足が深刻な課題となっており、とりわけ、若い現役世代からの十分な参加・協力が得られていないのが現状です。

これによって、活動の担い手の固定化や高齢化といった問題が生じており、そのことが若い世代の参加をさらに遠ざけるという悪循環につながり、活動のマンネリ化や柔軟性・機動性の欠如につながっていると指摘があります。

こうしたことから、様々な手段・機会を通じて、地域福祉に関する市民一人ひとりの意識・関心を高め、主体的に活動に関わる人材を育成するとともに、地域福祉活動を牽引するリーダーの養成・支援に取り組む必要があります。

[取組方針]

- 民生委員・児童委員や社会福祉協議会等の活動及び運営を支援し、地域福祉活動を担う人材・団体の活動環境を整備します。
- 研修会や講座等の開催を通じて、地域福祉活動を牽引する地域のリーダーを養成するとともに、その活動を支援します。